

TOKYO MIDTOWN AWARD 受賞作品 17 番目の商品化が決定！

着物にもカジュアルスタイルにもマッチ！

新しい TOKYO 土産にもなる“現代版の下駄”が全 3 色で登場

『ゲタサンダル Geta Flip Flops』

東京ミッドタウン(港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社)は、「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街を目指す一環として、デザインとアートのコンペティション「TOKYO MIDTOWN AWARD(東京ミッドタウンアワード)」を2008年より毎年開催しています。デザインコンペでは、自由な発想のデザイン案を募り、受賞作品には商品化に向けた全面的なサポートを提供しています。

この度、「TOKYO MIDTOWN AWARD 2017」デザインコンペの受賞作品『ゲタサンダル』の商品化が決定し、5月13日(水)(予定)より東京ミッドタウンにも店舗を構える菱屋カレンブロッソおよび公式サイトにて発売する運びとなりました。「TOKYO MIDTOWN AWARD」の受賞作品商品化は17作品となります。



『ゲタサンダル Geta Flip Flops』

「TOKYO」をテーマに開催した2017年度のデザインコンペで、1,162作品の応募の中から審査員特別賞(柴田文江賞)に輝いた『ゲタサンダル』。「“伝統的な生活用品”を“現代的な素材”で再構築することで、古くから続く日本文化をより気軽に身近なものに」と提案された本作品を、大正15年創業和装履物店「菱屋」が『ゲタサンダル Geta Flip Flops』として発売します。

【商品化のきっかけ】

東京ミッドタウンのテナントのひとつである菱屋様が展示をご覧になったことがきっかけでスタートした本プロジェクト。素材やフォルムの検証などを重ね、通常は靴底などに使用しているEVA素材を初めて履物本体にも取り入れることで、受賞時のデザインにほぼ忠実な形で商品化することができました。

本アワードが受賞者のその後の活躍を願って行う商品化サポート。今回は「ゲタサンダル」を発案した作家チームと、長く草履作りにノウハウを持つ菱屋様との3年弱に及ぶ作品開発期間が結実し、発売に至ることとなりました。

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ https://www.tokyo-midtown.com/jp/info/redirect_contact.html

■TOKYO MIDTOWN AWARD ホームページ■ <https://www.tokyo-midtown.com/jp/award/>

<商品概要>



【商品名】	ゲタサンダル Geta Flip Flops
【価格】	17,600 円(税込)
【販売元】	株式会社菱屋
【発売日】	2020年5月13日(水)(予定)
【販売】	店頭および菱屋カレンブロッソ公式通販サイト (https://www.calenblosso.com/)
【素材】	ポリエチレン、EVA
【カラー】	イエロー、ピンク、ブラック
【作家】	TOKYO MIDTOWN AWARD 2017 デザインコンペ受賞者 富永 省吾、綿野 賢、浅井 純平

作家コメント

富永 省吾さん(クリエイティブディレクター)、綿野 賢さん(プランナー)、浅井 純平さん(デザイナー)



2017年に賞をいただいてから、試行錯誤を繰り返し、無事商品化することができました。3年弱に及ぶ製作期間の大半は、「ビーチサンダルのように履ける下駄」というコンセプトを叶える「製法の発見」に時間を費やしていたと思います。下駄の形状・素材・デザイン性・重量・耐久性…様々な条件がある中、菱屋の廣田社長をはじめ、多くの職人の方々が作り方を模索してくださいました。私たちからの妥協のない無茶なオーダーにも策を見つけ出し、モックアップを見る度に胸が躍ったことを覚えています。数多くのテストの末に完成したこの「ゲタサンダル」は、ビジュアルのインパクトはもちろんのこと、私たちが想像していなかったほど、軽快で面白い履き心地です。この新しさを、一人でも多くの方に体験してもらえたいことを願っています。

「TOKYO MIDTOWN AWARD 2017」デザインコンペ審査員 柴田 文江さんコメント



見覚えのある下駄のカタチが、素材と色によってこれほどに新鮮なものになる。というよりも、このインパクトは、誰もが知っている下駄のカタチでなければ作れないのです。それを見出したところにこのデザインの力を感じました。

「ゲタサンダル Geta Flip Flops」開発者 株式会社菱屋社長 廣田 裕宣さんコメント



初めてガラスケース越しに受賞作を見たときのデザイン性とPOPさ、斬新さが忘れられません。履物メーカーの3代目として鼻緒式の履物をこれまでいろいろ開発してきましたが衝撃的でした。和装、洋装の私の知る限りの技術を組み合わせるとなにか商品化にこぎつけました。

TOKYO MIDTOWN AWARD 受賞作品 これまでの商品化実績

東京ミッドタウンのビジョンである【JAPAN VALUE(=日本の新しい価値・感性・才能)を世界に発信しつづける街】を体現するプロジェクトとして開催している「TOKYO MIDTOWN AWARD」。

このアワードの受賞者支援のひとつである商品化サポートは、0から1を生み出す応募のフェーズだけでなく、1を10にする(形にする)経験をしてもらうことで、デザイナーに必要とされているノウハウを得てほしいという思いから実施しています。

受賞後は、「ビジネス視点としてどうか」「長く使えるものをつくる」「SDGsを意識」「日本の伝統的なものづくりとのコラボレーション」など多角的な視点と、作品のメッセージ、実現性を検討し、プロジェクト化を行っています。これまでも川上産業のプチプチ®(緩衝材)にデザインのエッセンスで異なる意味を持たせた「浮世絵ぷちぷち®」や、様々な地方産業とタッグを組む中川政七商店と「東京はしおき」などを商品化してきました。



デザインコンペ 2015 準グランプリ

浮世絵ぷちぷち®

作家 coneru<清水 覚さん、山根 準さん、上久保 誉裕さん、菅原 竜介さん>

販売元 : 川上産業株式会社

江戸時代、大衆文化として庶民に愛された浮世絵は、おくりものを包んで守る、緩衝材として使われていました。そんな浮世絵を、現代の緩衝材であるプチプチ®に描き、当時の驚きが蘇る粋な包みとしてデザインしました。2018年度グッドデザイン賞受賞。



デザインコンペ 2017 優秀賞

東京はしおき

作家 本山 拓人さん、不破 健男さん

販売元 : 株式会社中川政七商店

東京という都市の成熟は、多くの川が流れ込む地形と、江戸時代より人の往来を繋ぐ大小さまざまな数千の橋に支えられていたといいます。「東京はしおき」は、東京という街を思い起こさせるアイテムであるだけでなく、「橋=人と人を繋ぐもの」ということから心のもった贈り物にも最適です。

東京を代表する『日本橋』『吾妻橋』『永代橋』『勝鬃橋』『レインボーブリッジ』の5種類が川に見立てたパッケージにおさまっています。

上記の他、「TOKYO MIDTOWN AWARD」デザインコンペ受賞作品の商品化は以下にてご紹介しています。

<https://www.tokyo-midtown.com/jp/award/design/product.html>